

# Operating manual

## CHALLENGER 15 Lite

## CHALLENGER 18 Lite



---

## Contents

記載事項.....	1
設置.....	2
システム操作/セッティング.....	4
オプションタッチスクリーン.....	8
テクニカルデータ.....	9
トラブルシューティング.....	10

## 記載事項

The **CHALLENGER LITE** システムはトランスミッターとChallenger Terminalから構成されコンピュータから最大150m（18インチは100m）の距離で操作可能です。ローカル端末（キーボード、マウス）も操作可能です。ローカル又はリモートで操作出来ます。

モニター、キーボード、マウス信号はcategory5(又はそれ以上)で転送されます。特徴としては、ケーブルの品質及び長さにより個々のビデオ調整が可能です。ユーザーは、いつでも最適な画像を見ることが可能です。私達はCAT-7cableを推奨致します。

モニター、キーボード、マウス情報だけでなくシステムは、RS232C インターフェース（オプション）及びオーディオデータ（オプション）をデータケーブル経由で転送可能です。

### システムコンポーネント:

トランスミッターユニット（以降Rack 42 Lite / Rack 84 Liteと呼びます。）

レシーバーユニット（以降CHALLENGER 15 Lite / CHALLENGER 18 Lite呼びます。）

ビデオ、キーボード、マウス PS/2に接続する為のマルチケーブル

RS232接続（オプション）

Audio接続（オプション）

データケーブル(別オーダー)

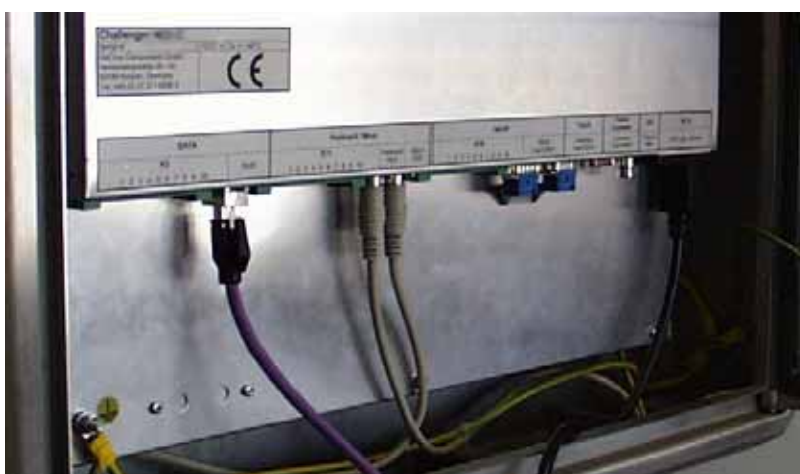
## 設置



Rack 42 Lite / Rack 84 Lite正面



Rack 42 Lite / Rack 84 Lite 裏面



CHALLENGER Lite 15/18-Terminal (Symbolphoto)

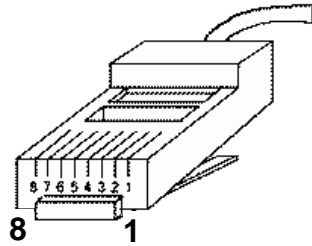
### Rack 42 Lite / Rack 84 Liteの設置:

- コンピュータの電源オフ。 .
- コンピュータよりモニター、キーボード及びマウスを外します。
- マルチケーブルをコンピュータのRGB端子及びPS/2に接続します。(VGA, キーボード及びマウス)
- Rack 42 Lite / Rack84 Liteの裏面に マルチケーブルのジャックを差し込みます。
- シリアルケーブルをコンピュータのCOMポートとRack 42 Lite / Rack84 LiteのRS232(オプション)に接続します。
- オーディオケーブルをコンピュータのオーディオインターフェースとRack 42 Lite / Rack84 Liteのオーディオインターフェース(オプション)に接続します。
- Rack 42 Lite / Rack84 Liteに**TRANSMISSIONケーブル (jack)**を挿入します。
- Rack 42 Lite / Rack84 Liteにローカルキーボード、及びマウス、モニタを接続します。

## CHALLENGER 15/18 Lite-Terminalsの設置:

- CHALLENGER LITEをセットアップします。
- CHALLENGER 15/18 Lite にデータケーブルを接続します。

The data cable with RJ45 plugs is 1 : 1 wired.



Pin	color
1	orange-black
2	orange
3	green-black
4	blue
5	blue-black
6	green
7	brown-black
8	brown

- AC 電源を接続します。 .
- CHALLENGER 15/18 LiteのRS232 (option)インターフェースにシリアル端末を接続します。
- CHALLENGER 15/18 Liteのaudiointerface (option)インターフェースにオーディオ端末を接続します。

## Rack 電源:

Rack 42 Lite / Rack 84 Liteに電源ケーブルを接続します。

## 機器の電源オン LED表示

CHALLENGER 15/18 Liteと Rack 42 Lite/ Rack 84 Lite.の電源を投入します。  
Rack 42 Lite / Rack84 Liteの**STATUS Local**及び**Power Main**のグリーンLEDが点灯します。

システム操作の準備が整いました。もしキーボード又はマウス/トラックボールが一方のステーションから入力されれば他のステーションがブロックされます。  
(先着優先)

キーボード又はマウス/トラックボールの入力が完了し約一秒が経過するとローカル又はリモートでの操作が可能です。

## システム操作/セッティング

### IVT – 個々のビデオチューニング

The **CHALLENGER 15/18 Lite**システムはビデオ接続可能です。この機能はそれぞれ違ったケーブル品質及び長さがユーザーによって補正することが可能です。この機能は個々に実行でき、最良の画面を直感的にセッティングできます。

CHALLENGER 15/18 Liteのキーボード上で設定可能です。

システムは2m毎に10 - 150 m ( 18インチは100m ) の距離をカバーします。

Challenger 15/18 Liteシステムは、使用するケーブルタイプの状況を考慮します。ほとんどのケーブルタイプに一致します。

任意にdelayfunctionによりデータケーブルからのTime delaysを補正可能です。

システムを最初に立ち上げた時、IVT-moduディスプレイメニューが現れます。ディスプレイメニューが不必要な場合、[Control] +[Esc]キーを押しとディスプレイメニューが消灯します。

「Ctrl」キーを押しながら



[  **Control** ]

[Esc]キーを押す。



[  **Esc** ].

### IVTモードの呼出し

「Ctrl」キーを押しながら



[  **Control** ]

[Scroll Lock]キーを押す。



[  **Scroll** ].

IVT modelは上記キーを離したときに直ぐにディスプレイにメニューが現れます。追加で下記LEDが点滅します。

LED [  **Scroll Lock** ].

## Menu 操作:



**ESC:** 保存なしでメニューを中止します。



**F1:** 全て保存しメニューを中止します。



**F2:** ヘルプウィンドウが現れます。

[ 印]キー、[ 印]キーで機能の選択が可能です。

[ 印]キー、[ 印]キーで機能の調整が可能です。

ディスプレイに画面が現れない場合[End]キーを押して下さい。



**Lowest amplification** に 10m をセットして下さい。  
[ End ].

さもなければディスプレイに画面が現れない場合[Home]キーを押して下さい。



**Highest amplification** に 200m をセットして下さい。  
[ Home ].

## Video Tuningの調整

メニューの中から[ 印]キー、[ 印]キーで **[video boost]** を選択して下さい。  
[ 印]キー、[ 印]キーでビデオチューニングの為に最良の調整をして下さい。



- メニューの中から[ 印]キー、[ 印]キーで**[cable type]** を選択して下さい。  
[ 印]キー、[ 印]キーでcable type を選択して下さい。
- 設定を変更した場合、[F1]キーを押して下さい。



. 設定が保存されます。 ..

[F1]キーの代わりに[ESC]キーを押すと設定は保存されず前回の設定のままとなります。

データケーブルからのtimedelaysに適した値はIVT-Modus の**[delay]**からdelayfunction ( オプション ) 機能を使用して下さい。

---

## IVTセッティングの注釈

前記述で参照した手順は理解して下さい。

ビデオピクチャーの画質はモニターの画質に依存されます。  
最良の品質を保証できるケーブル長は最大150m（18インチの場合100m）です。  
距離が伸びると画質が下がります。

あなたのアプリケーションで最良のセッティングをして下さい。

もしモニタが黒い表示のままであれば（未表示）Challenger Liteがサポートしているグラフィックカードのリフレッシュレート及び解像度がチェックして下さい。

## 解像度

下記のケーブル長と解像度が良好な画質となります。

Challenger Lite	Length of data cable	Resolution	Refreshing rate
15"	150m / (500ft)	1024 x 768	< 75 Hz
18"	100m / (330ft)	1280 x 1024	< 75 Hz

## 自動変更

**CHALLENGER 15/18 Lite**システムは、ワークステーション(ローカル及びCHALLENGER 15/18 Lite)の両方で操作する事が可能です。

両方のキーボード及びマウス/トラックボールは、基本的に取りはずしが、可能です。

---

## タイムアウト定義

このセッティングは、ローカルとリモートコンソール間の自動切替の遅延時間を定義します。このセッティングで、アクティブでないコンソールが求めているアクセスを防ぐことができます。このセッティングは、もしアクティブなコンソールにキーボード、マウス操作がない場合に言及しています。  
他のコンソールは、システムにもう一度アクセスする事が出来ます。

この章の後で定義方法を明記します。

### タイムアウト設定機能の呼び出し:

[Ctrl]キーを押しながら



[  Control ]

[Num Lock] キーを押す



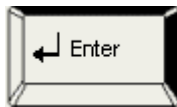
[  Num ].

上記キーを離したときに直ぐにディスプレイにメニューが現れます。

カーソルをentry Config 又は confirm に移動する。

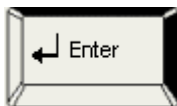


を押す。



Config-Menuが現れます。

**System Config** を選択しカーソルを上又は下に移動しconfirm上で



ボタンを押す。

entry Timeoutにカーソルを移動する。

1-90秒のレンジで値を入力し遅延時間を定義する。

[F1]キーを押してセッティングを保存する。

---

## オプションタッチスクリーン

Challenger タッチスクリーンは Challenger FMO 表面に接合されている抵抗式タッチユニットです。

その特徴は RS232 通信でコントロールユニットと接続、通信しています。

下記のバージョンが使用可能です。

CHALLENGER 15 Lite

CHALLENGER 18 Lite

ディスプレイモジュールからの電源でタッチは動作します。

タッチスクリーンの為の追加要求

- Rack 42 Lite / Rack84 Lite にRS232オプションユニットが必要。
- RS232 データケーブル ( Rack 42 Lite / Rack84 Lite及び PC間用 )
- P C へタッチパネルドライバのインストール

## テクニカルデータ

### ビデオ

- 解像度 : max. 1600 x 1280 pixels
- 伝送距離 : 10 to 150 m  
15インチ150m  
18インチ100m

### キーボード/マウス

インターフェース/トランスファー: PS/2 / インテリマウス

### RS232 (オプション)

- 転送速度 : 38400 bit/s
- 信号 : TxD, RxD, RTS, CTS, DTR, DSR

### タッチ(オプション)

- IP等級 : IP65 from front
- 電源: : 12V DC Challenger ディスプレーより供給

### オーディオ(オプション)

- 解像度 : 18 bit digital
- サンプルレート : 48 kHz
- Band with : 22 kHz
- Mikrophon-pre-amplification : 20dB

### 外形寸法図

(B x H x T in mm)

: **Rack 42 Lite:**  
210x45x225mm (8,27"x1,77"x8,87")  
ca. 1,2kg (2,6lb)

**Rack 84 Lite:**  
210x45x482mm (8,27"x1,77"x19")  
ca. 1,3kg (2,9lb)

**CHALLENGER Lite 15 ( SUS筐体寸法含む )**  
628x782x355mm (24,74"x30,81"x13,99")  
ca. 9kg (20lb)

**CHALLENGER Lite 18 ( SUS筐体寸法含む )**  
628x850x355mm (24,74"x33,49"x13,99")  
ca. 10kg (22lb)

### データケーブル

: CAT 5 or higher, recommended CAT 7

### 電源電圧

: 100 - 240 VAC 50/60Hz  
Rack 42 Lite / 84 Lite max. 20W (Fuse 0,5AT)  
CHALLENGER Lite max. 70W (Fuse 2AT)

### 動作温度範囲

: -10°C - +55° C (+14°F - +131°F)

## トラブルシューティング

設置後コンポーネントに電源をオンしディスプレイが動作しない場合、

下記をチェックして下さい。

- 全ての接続。
- パワーオンでディスプレイ裏面の緑色のLED点灯。LED未点灯の場合、ディスプレイの2つのヒューズをチェック。
- 全てのコンポーネントの電源がオン？
- 下記の表の如くグラフィックカードの解像度又はリフレッシュレートが正しいかチェック。
- データケーブルが1対1で接続されているか？
- IVTモードでビデオチューニングの調整。

### 解像度

下記の解像度及びケーブル長が良好な画質となります

Challenger Lite	Length of data cable	Resolution	Refreshing rate
15"	150m / (500ft)	1024 x 768	< 75 Hz
18"	100m / (330ft)	1280 x 1024	< 75 Hz

### IVTモードの呼出し

[Ctrl]キーを押しながら



[ Control ]

[Scroll Lock]キーを押す。




[ Scroll ].

IVT modelは上記キーを離したときに直ぐにディスプレイにメニューが現れます。追加で下記LEDが点滅します。


LED [ Scroll Lock ].



**Lowest amplification** に 10m をセットして下さい。  
[ End ].

さもなければディスプレイに画面が現れない場合[Home]キーを押して下さい



**Highest amplification** に 200m をセットして下さい。  
[ Home ].



設定を変更した場合、[F1]キーを押して下さい。